

# 平成20年度 決算



## 一般会計決算

市では、4月と10月の年2回、市の財政状況の公表を行っています。

今回は9月定例会で認定された「平成20年度決算」の概要についてお知らせします。

平成20年度の **解説P4下** 一般会計決算は、歳入が、188億2806万7千円（前年度比17億7057万9千円、10・4%増）、歳出が、179億8332万円（前年度比16億7850万6千円、10・3%増）となりました。

注意・本文および円グラフ中の数字は、千円未満を四捨五入しているため、総額と内訳の合計額が一致しない場合があります。

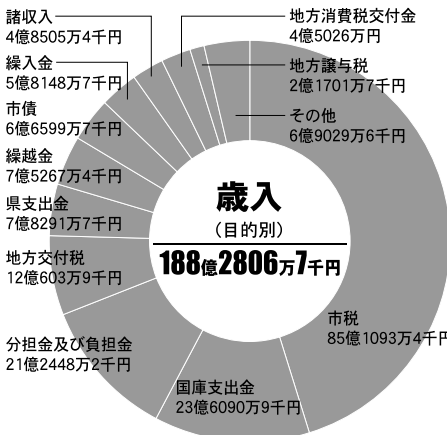
### 歳入

**吉川駅南特定土地地区画整理事業の負担金や人口増に伴う市税が増加**

吉川駅南特定土地地区画整理事業に伴う負担金および **解説P4下** 国庫支出金が大幅増となったほか、人口増などに伴う市税の増などにより、前年度比で大幅な増額となりました。

一方、**解説P4下** 地方交付税や地方交付税の減額分に対して発行が許可される **解説P4下** 臨時財政対策債が削減されたほか、**解説P4下** 経済情勢の影響などにより、**解説P4下** 地方消費税交付金などの各種交付金も減となりました。

また、**解説P4下** 市債も、平成19年度に実施した中曽根小学校耐震大規模改修工事の皆減により減となりました。

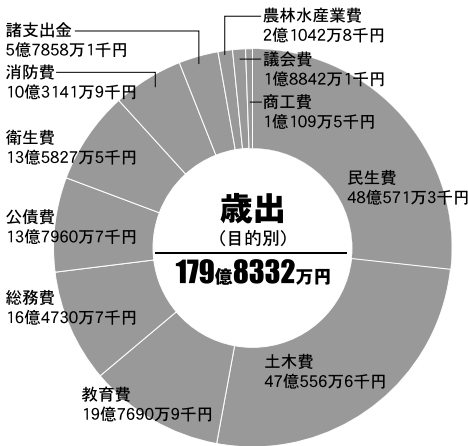


### 歳出

**吉川駅南特定土地地区画整理事業負担金や児童手当の増により土木費・民生費が大幅に増加**

吉川駅南特定土地地区画整理事業に伴う都市再生機構への負担金の大幅増などに伴い、土木費が増となったほか、児童手当などの扶助費が増加したことなどにより民生費が増となり、前年度比で大幅な増額となりました。

一方、平成19年度に実施した中曽根小学校耐震大規模改修工事費の皆減により教育費が減となり、また、大規模事業債の償還終了に伴い公債費が減となりました。



### 総括

歳入と歳出の差額である8億4474万7千円は、平成21年度に繰り越されています。

上記決算内容を踏まえ、今後も改革の手を緩めることなく、市民の皆さんが安心して暮らせるよう市政運営に取り組んでいきます。

なお、以下では、平成20年度に行った主な事業や、各会計の状況について説明します。

市民一人当たりに使われたお金		総額 279,318円
総務費	市の総括的な事務や自治会活動支援などの費用	25,586円
民生費	高齢者・障がい者・児童などの福祉の費用	74,643円
衛生費	ごみ処理・保健衛生などの費用	21,097円
土木費	道路・公園・河川などの整備の費用	73,087円
消防費	消防・救急活動や災害対策などの費用	16,020円
教育費	小中学校などの施設運営や文化振興などの費用	30,705円
公債費	国や金融機関から借り入れたお金の返済費用	21,428円
その他	議会運営、農業・商工業振興、労働行政などの費用	16,752円